

## 再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：鈴木克宗

事業名：一般国道 289号 南倉沢バイパス	事業区分：一般国道	事業主体：福島県		
起終点：自：福島県南会津郡下郷町大字大松川 至：福島県南会津郡下郷町大字南倉沢		延長：6.2 km		
<b>事業概要</b> 国道289号は新潟県新潟市を起点とし、福島県いわき市に至る260kmの主要な幹線道路であり、広域的な連携・交流を促す重要な路線である。南倉沢バイパスは、直轄権限代行事業（甲子道路）とともに甲子峠の通行不能区間の解消を目的とした、延長6.2kmの2車線道路の改築である。				
H7年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H8年度用地着手		
		H10年度工事着手		
全体事業費	約71億円	事業進捗率		
		38%		
		供用済延長		
		0.4 km		
計画交通量	4,590台/日			
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 43 / 76億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 97 / 126億円	基準年 平成16年
	(残事業) 2.3	事業費：36 / 69億円 維持管理費：7 / 7億円	走行時間短縮便益：98 / 125億円 走行費用減少便益：-1 / 1億円 交通事故減少便益：0 / 0億円	
<b>事業の効果等</b> ・国土・地域ネットワークの構築（県南地域、南会津地域生活圏の連携が強化される） ・災害への備え（交通不能区間が解消される） <span style="float: right;">他2項目に該当</span>				
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 国道289号は、地域交流の促進に重要な役割を果たすことが期待されており、渡部恒三衆議院議員をはじめとする4市7町7村の首長および議長で構成される国道289号線建設期成同盟会より早期整備の要望（平成16年8月3日）を受けている。				
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 会津縦貫南道路が調査区間指定（平成11年度）され、会津地方の地域ネットワークの一端を担う道路として一層重要性が増している。				
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> これまでに、用地買収が終了し、主要構造物である新東開橋を含む延長0.4kmを供用している。残る延長5.8km区間については、順次、改良工事を実施している。				
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 平成14年度までに用地買収が終了していることから、引き続き改良工事を促進し、3.4km区間を平成20年度に供用し、残る2.4km区間については平成25年度全線供用を予定している。				
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 耐候性鋼材を橋梁に採用し、ライフサイクルコストの縮減を図っている。				
対応方針		事業継続		
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
<b>事業概要図</b>				

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。